

## 令和3年度第2回鳥取県協働連携会議の概要について

- ・日 時 令和3年9月6日（月）午後2時～3時40分
- ・場 所 第28会議室（第2庁舎4階） ※WEB会議
- ・出席委員 委員11名中7名出席  
事務局：県民参画協働課、職員支援課、他関係課

### 【議題】

- (1) 規制改革及び行政手続きの見直しに関することについて
- (2) 民間提案事業サポートデスクの対応状況について
- (3) 鳥取県協働連携ガイドライン（骨子案）について

### 【会議の概要】

#### 議題1 規制改革及び行政手続きの見直しに関することについて

行政手続等の見直し提案（2件）に対する対応方針案について報告を行った。

##### (1) 県のホームページのデザインの見直し

###### <提案内容>

誰でも使いやすいようなデザインにしてほしい。また、スマホを中心とした画面構成にしてほしい。

###### <対応方針：見直し>

- ・ウェブページのデザインは、ウェブアクセシビリティ（誰もがウェブページで提供される情報や機能を支障なく利用できること）確保の範囲内で、より見やすいデザインとなるよう努めている。
- ・スマートフォンでも閲覧しやすいよう、指導や研修等を通じて、スマートフォン画面を意識した編集を徹底している。

###### <委員の主な発言>

- ・大学のホームページは、学生が見やすいレイアウトを考えた方が良いが、県のホームページは色々な人が見やすいよう考えないといけないので、難しい部分もある。他県のものも参考にしながら、よりよいものにして欲しい。

##### (2) 申請フォームの統一/オンライン化

###### <提案内容>

オンラインで申請可能且つ申請フォームの統一化を進めてほしい

###### <対応方針：見直し>

- ・申請フォームにおける氏名や住所などの定型的な共通部分の統一化に向けた取組を開始している。
- ・対面確認が必要なものを除き、令和4年度末までに行政手続がオンラインでできるよう、取り組んでいる。

###### <委員の主な発言>

- ・特段なし

#### 議題2 民間提案事業サポートデスクの対応状況について

民間提案サポートデスクで4月1日から8月31日までに対応した提案・相談案件（21件）のうち、提案者と担当課で検討し、結論が出た案件（実施中5件、実施不可1件）について検証を行った。

##### (1) 実施中の案件（5件）

###### ① SNS を使った夜間・休日のヤングケアラーの相談窓口の開設

###### <提案内容>

- ・ヤングケアラーが、夜間や休日の時間帯に相談できるよう SNS 上に相談窓口を設置し、安心して介護の相談ができ、学業や就業の継続へ向け前進できる環境を整える。

###### <委員からの主な意見>

- ・ヤングケアラーの中には、スマートフォンや SNS を使えない子どももいるので、工夫が必要。

- ・ヤングケアラーの取組を本当に困っている人に届けられているのか。

## ②包括連携協定企業と連携した取組（４件）

### ア 第一生命保険(株)

#### <提案内容>

- ・第一生命営業職員が顧客に花をプレゼントする『とっつりの花』応援プロジェクトと連携したとっつり花回廊のPR
- ・第一生命と鳥取県が連携したがん対策講演会における県のがん対策、受診率向上の呼びかけ
- ・地方版サラリーマン川柳コンクール「お国自慢サラリーマン川柳」とタイアップした鳥取県のPR

#### <委員からの主な意見>

- ・第一生命との連携により、とっつり花回廊の集客が何人増えたのか、効果がわかるのもっと良い。
- ・包括連携協定企業の提案による施策実現は素晴らしく、もっと県民に広くPRできたら良い。

### イ 日本郵便(株)作成の鳥取の梨のポスター・のぼり等を活用した梨のPR

#### <提案内容>

- ・梨農家を応援することを目的に、また、鳥取県の梨を全国にPRすべく、地元のイラストレーターと協力し作成したのぼり・ポスター及びチラシを今後のPRに活用して欲しい。

#### <委員からの主な意見>

- ・とっつりの梨のPRは、郵便局にのぼり旗を置くだけでなく、もっと積極的な動きが欲しい。

## (2) 実施不可の案件（１件）

#### <提案内容>

- ・自治体が発行した電子ポイントを住民がお店で利用できる電子地域通貨サービス及び会員登録した利用者から予約を受け、目的地まで乗り合い送迎するシステムの提供

#### (実施不可の理由)

- ・電子地域通貨は費用対効果の面で断念し、電子クーポンではなく、紙媒体のクーポン発行を検討する。
- ・既に交通空白地等では移動手段の提供や実証が行われている。複数の予約システムがあり選択肢の1つになりうるもので、地域のニーズにマッチすれば、連携の可能性がある。

#### <委員からの主な意見>

- ・電子地域通貨サービスを黒字で運営できていることは少ない。地域全体で慎重に検討しないと、赤字で終わって継続することは難しい。

## 議題3 鳥取県協働連携ガイドライン（骨子案）について

令和3年度中に策定予定の鳥取県協働連携ガイドライン（骨子案）について説明を行った。

#### <ガイドラインの概要>

- ・民と官が協働連携を進める上で必要となる基本的な考え方やルールを共有するため、ガイドラインを策定する。
- ・ガイドラインには、協働連携の取組を積極的に推進し、双方に利益のある関係を目指すことを明示し、協働の手法、事業提案の流れと留意点、取組の検証などを規定する。

#### <委員からの主な意見>

- ・提案が複数の課にまたがる場合でも、ワンストップ的に担当課ときちんとつなげることが必要。  
⇒相談内容に応じ、複数の課がチームで対応することとしており、その旨をガイドラインに記載する。
- ・PFI やPPP など、一般には馴染みのない用語は注釈を入れて欲しい。  
⇒表記を含め、わかりやすい記載方法を検討する。